

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：サンライズキッズ保育園 厚木園	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：半田 理愛	定員（利用人数）：19 名	
所在地：〒243-0804 厚木市関口418-2 フィガロハウス101		
TEL：050-5807-2304	ホームページ： https://www.sunrisekids-hoikuen.com/atsugi/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2019年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 エクシオジャパン		
職員数	常勤職員：6 名	非常勤職員：8 名
専門職員	（専門職の名称）： 名	
	保育士：12 名	幼稚園教諭：3 名
	栄養士：1 名	小学校教諭：1 名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	0歳児保育室	事務・医務室
	1歳児保育室	調理室
	2歳児保育室	調乳室
		沐浴室

③理念・基本方針

<理念>

もっと輝け、明日のぼく・わたし！

周りに光とパワーを与える、ぽかぽか暖かい太陽のような子になろう。

<基本方針>

1. ひとりひとりの個性を大切に保育する。

●どんなに小さな子どもでも立派な一人のかけがえのない存在です。小さな子どもにとって、1日はとても長く、1分1秒の間に様々なことを感じ取ります。

2. たっぷりの愛情で保育します。

●言葉にして訴えることが難しい時期だからこそ、一人ひとりの欲求を受け止め、小さな変化も見逃さず「ありのまま」を受け入れ、その時々合った対応、援助をします。

<保育目標>

●自分に自信を持とう

●想像力を育もう

●お互いを理解しよう

●心身ともにたくましくなろう

- 自然を愛する心を持とう
- 目標に向かってがんばろう
- 礼儀正しい子になろう

④施設・事業所の特徴的な取組

<サンライズキッズ保育園 厚木園の特徴的な取り組み>

1. 充実したカリキュラム導入
 - 育脳プログラム（リトミック・英語・体操）、フラッシュカード・ドッツカードの利用
 - 読み聞かせプログラム（一日10冊以上の絵本）
 - 道徳カリキュラム（絵本の利用等）
 - 食育/植栽への取り組み（自園調理へのこだわり等）
2. 保育園ICTシステム導入による効率的かつ保護者との連携がとりやすい保育体制
3. 毎月実施の社内研修制度による保育士のレベルアップ

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年04月20日（契約日） ～ 2021年09月02日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥総評

【サンライズキッズ保育園 厚木園の概要】

●サンライズキッズ保育園厚木園（以下、本園という）は、株式会社エクシオジャパン（以下、法人という）が運営する小規模保育園です。法人は、平成24年に保育事業に参入し、「子どもたちの無限の可能性を引き出し未来へ羽ばたく人材の育成」という目標を掲げ、地域の待機児童問題の解消のため、現在、神奈川県内の4園を含め全国で29園の小規模保育園の運営を行っています。法人は、かけがえのない大切なお子様を「常に安心して預けられる園」であることはもちろん、伸び伸びと自己表現が可能な環境で、感性豊かな心の形成を目指しています。「もっと輝け、明日のぼく、わたし！周りに光とパワーを与える、ぽかぽか暖かい太陽のような子になろう。」を保育理念として掲げ、心身共に健康な園児を育み、また、職員も明るく保育ができる保育施設を運営しています。

●本園は、小田急小田原線「本厚木駅」よりバスに乗り「依知小学校前」バス停から徒歩3分のみ分りやすい場所にあります。園舎は、129号線沿いですが園舎に入ると静かで、裏口も設けられたゆったりとした作りで、子どもたちは安心して過ごしています。園舎内は、安心・安全な設備の下、ゆとりある空間と愛着関係を密に築くことができる少人数制の特性を生かした作りになっています。園庭は有していませんが、園周辺は緑が多く残り、季節ごとに作物が実る畑の散歩道を歩き、ゆったりとした環境が子どもたちの心身を豊かに育てています。また、系列園全体で、0歳～2歳児の時期を脳の成長の一番大切な時期として認識し、育脳プログラムを採用して体操・リトミック・英語カリキュラムを取り入れ、充実した保育の提供を行っています。

◇特に評価の高い点

1. 【保育の質の向上のための本部との連携】

●保育の質の向上のため、様々な面で本部との連携が有効に機能しています。園から法人本部への報告事項で、毎週水曜日「設備・散歩コース等を点検簿での安全確認」・毎週木曜日「SIDS対応で午睡中の園児の様子を写真で送付」・毎週金曜日「ヒヤリハット

や事故の事例報告」等を行い、法人本部のサポートで問題解決に取り組んでいます。子どもたちが快適に過ごすための園内美化にも注力しており、毎週金曜日に「園内数力所の写真送付」を行い、法人本部に美化報告を行っています。また、全園共通の保育園ICTシステム導入により、指導計画や各園からの情報提供及び報告・連絡・相談等が迅速に行われ、業務効率化に役立っている他、連絡帳や保育に関する記録が全てクラウド上で管理され、園長・職員・法人本部スタッフが確認できることで、保護者との連携が取りやすい保育体制が構築されています。問題が生じた場合は本部でチェックや指導が行われ、サポートが常にあり、問題解決にもスムーズに取り組め、双方の連携により保護者への対応も迅速に行われています。

2. 【安心で専門性の高い保育環境】

●本園は、安全で明るく清潔な保育環境を整備し、子どもたちが快適に過ごすための園内美化に注力しています。毎週金曜日には「美化報告」として数力所の園内写真を撮り、法人本部に報告をしています。問題があれば、改善の指導を受け都度、改善に努めています。設備としてはオートロックで常時施錠し、セキュリティカードによる不審者の侵入を防止しています。室内は清潔で、体にも優しい床暖房を使用し、開閉式の窓にはストッパーを装着し、子どもたちの指が挟まることのないよう安全に配慮しています。午睡では、『夏は涼しく、冬は暖かく』床上のほこり等を吸い上げることのない衛生的な「昼寝コット」を使用しています。壁にはクッション材を活用し、クラスの仕切りには木材の柵を使用する等、子どもの安全を第一に考えて配慮しています。また、SIDS対応では、5分ごとのプレスチェックの実施や、毎週木曜日に午睡中の園児の写真を本部に送ると共に、法人本部では「WEBカメラ」でのチェックを行い、安心・安全な保育環境の提供を行っています。

◇改善を求められる点

1. 【地域との関係確保のための取り組み】

●子どもと地域との交流を広げるための取り組みが必要となっています。地域の消防署・警察署等の連携等、社会資源についてはリストを一覧にして職員に周知しています。現在、近隣の保育園との連携を調整中ですが、開設3年目の新しい園であり、また、新型コロナウイルス感染症の影響で連携が遅れています。できるだけ早く連携を進め、交流の機会を設け、地域の方に身近な保育園として認識されるよう取り組んでいくことが望まれます。子どもが地域の人々と交流を持つことは大切なプロセスであり、取り組みに期待します。また、保育園による専門的な地域への支援活動として、「パパママ相談室」の開催やホームページ上で保育に関する相談窓口の設置等、地域に開かれた子育て支援を行っています。引き続き、地域の子ども育成支援や地域コミュニティの活性化に取り組んで行かれることを期待いたします。

2. 【職員の定着と育成への取り組み】

●毎月の社内研修・調理スタッフ研修（2カ月に1回）・園長研修（2カ月に1回）等、職員一人ひとりの教育・研修の機会は確保されています。また、年4回の自己評価・毎月実施の職員面談・職員による360度査定等、職員の意向・意見の把握ができています。職員それぞれに合わせた条件で働く変形労働時間制が設けられ、サンライズの約束「持ち帰り仕事はしない」を基本的考え方として運営する等、職員のワーク・ライフ・バランスを考えて取り組んでいます。職員間で臨機応変に協力し合い、働きやすい職場作りに努めていますが、経験値の浅い職員も在籍しており、引き続き、職員個々の仕事上の悩みや不安を早い段階で解決していく取り組みが望まれます。また、経験値の浅い職員を対象に、課題や目標を決めて保育に取り組み、本部と共有し、スキルアップを図って

いかれることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： 株式会社エクシオジャパン サンライズキッズ保育園 厚木園

〈評価（自己評価等）に取り組んだ感想〉

この度、第三者評価を実施していただき、様々な気づきを得ることができました。組織として取り組みや事業について自己評価を行い、見直す良い機会となりました。

特に、地域の福祉ニーズ等に基づく活動に関しては、ホームページや地域施設への張り出し等を強化していますが、参加等の実践につながっていないので今後、力を入れていくことにします。

《株式会社エクシオジャパン 保育事業部の感想》

先日は数日間に渡り、第三者評価の実施をありがとうございました。今年度から勤務する施設長が多い中、改めて本部と施設長の方向性、認識を見直し、統一する良い機会になったと感じております。

結果を拝見させていただきました。その中でもやはり本部と現場の連携の重要性を感じました。現場の温度感を本部でも忘れることなく、より密な「報・連・相」を心がけて園づくりをしてまいります。

〈評価後取り組んだ事として〉

1. 実習生受け入れについて、学生の実習段階に合わせて指導すべき保育内容や保育者自身も良い学びの機会となるように日々の保育の見つめ直しや、指導力が身につくよう再確認し評価後に実習生を受け入れました。
2. 職員の月1回の個人面談では、より深く意見が聞けるよう、日々のコミュニケーションを深め、職員一同が同じ目標を持って務めるようにしています。
3. 園長が不在時に職員が取るべき行動や、各役職が付いている職員には、改めて再確認を行いました。

《株式会社エクシオジャパン 保育事業部での取り組み》

1. 園長の認識ズレがあった箇所のすり合わせ
2. 本部内での総評の共有
3. キャリアアップ研修を積極的に受けられるような案内周知

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり